

学校だより「はつやま」

㊦㊦ はつらつとした子
(きらきら)

㊦ やさしい子
(ほかほか)

㊦ まなぶ子
(ぐんぐん)

令和5年6月6日 第13号

吉崎市立初山小学校

文責：校長 野間 恭介

「初山っ子の心を見つめる」教育週間

今週は、「初山っ子の心を見つめる」教育週間です。教育週間の始まりに当たって、子供たちに講話を行いました。子供たちの心の成長を願い、以下のような話をしました。

今日から、「初山っ子の心を見つめる」教育週間が始まりました。

教育週間は、期間は学校によって違いますが、長崎県内のすべての小・中学校で行われます。なぜ、教育週間が始まったのか、昨年度も話しましたが、改めてそのことについて最初にお話しします。とても、つらく悲しいお話ですが、しっかりと聞いてください。

今から20年前、長崎市で、当時中学校1年生の少年が4歳の幼児を誘拐し命を奪うという事件がありました。また、19年前には、佐世保市で小学校6年生の少女が同級生の命を奪うという事件もありました。2つの信じられないような事件があって、このような事件を二度と繰り返してはならないということで、この教育週間が始まりました。

先日、私の父がなくなりました。家族全員がとてもつらく悲しい気持ちになりました。生き返ってくれたらと考えることもありましたが、命を失うと、二度と生き返ることはできません。ゲームの世界では生き返ることができても、現実の世界では、失った命は、絶対に元に戻ることはないのです。

だからこそ、自分の命、そして他人の命を大事にしなければならないのです。すなわち、自分も他の人も大切にしようとする心が大事なのです。

この教育週間は、みなさんの周りにいる大人が、みなさんの心が、どれだけ自分やまわりの人を大切にしようとしているかを、しっかり見つめようという週間です。

心の中は、外側から見えませんが、言葉使いや行動となって表れてきます。つまり、心は見えるのです。

心を成長させるためには、思いやりのある言葉使いや礼儀正しい言葉使いをすること、やってよいことか、だめなことかを判断して、正しい行動をすることが大切です。それが、心を成長させます。

昨年度も話したように、吉崎市には、「吉岐っ子あいさつ運動」という取組があります。

- ・あいさつ、気持ちのよいあいさつ
- ・うは、気持ちのよいうけこたえ
- ・えは、気持ちのよいえがお
- ・おは、人に対するおもいやり

この取組を初山小学校でもがんばっていきましょう。最後に、もう一度言います。心は言葉遣いや行動に表れます。

みなさんが、一生懸命勉強している様子、生活している様子、そして精一杯生きている様子を、この教育週間において、保護者の方などに見てもらいましょう。

以上でお話を終わります。

第1回世代交流活動

6月5日(月)、4～6年生の子供たちが地域の方との第1回世代交流活動を行いました。昨年度に引き続き、「ペタンク」と「グラウンドゴルフ」で交流しました。

4年生は初めての経験でしたが、とても楽しそうに活動していました。子供たちも地域の方も笑顔あふれる素敵な時間となりました。交流していただいた地域の皆様、ありがとうございました。第2回目が今から楽しみです。

